

## 1 目的

山川高校の近くに位置する鰻温泉は、西郷隆盛に縁のある温泉として有名で、天然かまど(温泉の蒸気を利用したかまど)が設置されていることから、観光客や指宿市民に利用されている。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響から、県外など遠方への旅行や観光が厳しい状況であり、近場への観光(マイクロツーリズム)へのニーズの高まりが予想されている。

そこで、地元の資源である温泉や地域の特産品であるオクラ、マメ、サツマイモなどの野菜を活用した体験を重視した「観光における地産地消」の可能性を探るとともに、農業を通じて将来、地元で貢献できる人材の育成を図る。

## 2 実施状況

### (1) スメ体験プログラムの実施

指宿の農産物を食材して捉え、次に示す4回のプログラムを計画し、実施した。

ア 8月 オクラ

イ 10月 サツマイモ

ウ 12月 スナップエンドウ

エ 2月 ソラマメ、実えんどう(まめこぞう)

なお、延べ31組128名のお客様が参加した。

#### ○ お客様の感想

「美味しい野菜をスメ体験で美味しく食べて大満足でした」

#### ○ 生徒の感想

「体験している人たちが、とても楽しそうだった」

### (2) マメ収穫体験の実施

2月はマメ収穫の最盛期であり、山川高校のマメほ場において、参加者自らが収穫し、その収穫したマメをそのままスメで蒸して食べてもらうことで、マメ(ソラマメ、実えんどう(まめこぞう))を味わっていただいた。

#### ○ お客様の感想

「マメがすごく甘く感じました」

#### ○ 生徒の感想

「喜んでくれるお客様見てうれしかった」

## 3 今後の課題及び取組

今年度初めての取組で、生徒も試行錯誤しながらの活動であった。一通り流れや道具等の準備が整ったので、以下の点を考慮しながら次年度以降も継続していきたい。

(1) 材料購入からスメ体験まで、円滑に行えるよう、更に工夫を図る。

(2) 農生産物の背景やストーリーなどを踏まえた紹介や説明の準備に取り組む。

(3) 指宿の農家や商店の収入の増加につながる仕組みを検討する。



体験前の生徒代表あいさつの様子



お客さんの体験を手伝っている様子



指宿の特産(サツマイモ、マメ)の説明・紹介



マメの収穫体験を手伝っている様子